

発行：2022年4月1日

広島県地域リハビリテーション広域支援センター
医療法人光臨会 荒木脳神経外科病院
訪問リハビリテーション
〒733-0821 広島市西区庚午北2丁目8-7
TEL：082-527-1123
FAX：082-527-1127

ご挨拶

やわらかな春風を感じ、心華やぐ頃になりました。
皆様におかれましては、ますます輝かしい春をお迎えのことと存じます。

コロナウイルスは予断を許さない状況が続いておりますが、世界情勢においても、心苦しい出来事が連日続いており、「日常」の大切さを改めて感じる日々です。引き続き、利用者様が住み慣れた環境で生活を継続できるよう、訪問し、お手伝いさせていただきたいと思っております。

この度の広報誌では、「福祉用具」を利用することで、外出範囲が広がった方や自宅でやりたいことが実現できた方をご紹介します。また、1月から2月に実施した訪問リハビリテーションアンケートの結果をお伝えしたいと思います。

季節の変わり目ゆえ、皆様どうぞご自愛ください。

リハビリテーション部 中原 幸恵

セニアカーの操作は
片手でできます。



O様は非利き手だった**左手のみ**で
運転されています。

- ・軽く握る→アクセル
- ・強く握る、離す→ブレーキ

目的の地まで行く道具の一つとして、
上手に使われていらっしゃいます。
外出先では、
店内をショッピングカートや杖を
使って歩かれているそうです！



今年の1月からハンドル型電動車いす（シニアカー）の操作
練習を訪問リハビリテーションの時に始めています。安全に
運転できるルート確認も行いました。

▼導入に至った経緯は？
「郵便局に行きたいけど、歩くには遠くて：どうしようかと
思っていたら、近所で使用している人を見かけました。
ちよつと使ってみたいと思ったことがきっかけです。」

▼使用してみてもいいですか？
「運転するのはワクワクしますね♪楽しいです。」
「2月には近所の薬局まで1人で買い物に行きました。」

「ハンドル型電動車いす」を使って
外出機会が増えました！

O様



「電動昇降座椅子」を使って ホットカーペットの上で寝転ぶことが できるようになりました！

〇様

1人暮らしをされている〇様。
普段は車椅子や椅子に座って過ごす時間が大半を占めていました。

ある日訪問した時に、
「冬は寒いから、ホットカーペットに横になって温まりたいんよね」
と話されました。



右の手足が少し動かしにくいことや、ひざが痛いことから、床から直接立ち上がる
動作が難しい状況でした。

そこで、**電動昇降座椅子** を提案させてもらい、練習してみました。



電動昇降座椅子とは...
レバー操作やリモコン操作で
座面が電動で上下する椅子です。



ひじ置きにあるレバーを
操作すると、座面が下に
降りていきます。



床の上を「いざる練習」や
「お尻を上げて、昇降座椅子へ
移る練習」を何回も行い、
頑張っていたらいました！



お正月は、床に寝転んでゆっくりと
過ごすことができました。

ホットカーペットへ1人で降りて横になることが
できるようになりました！！



思いがけず転んでしまった時も、1人で昇降座椅子まで
「いざり動作」を行い、**昇降座椅子**から立ち上がることができた、
という方もいらっしゃいます！

シニアカーや電動昇降座椅子等、利用者様の希望に近づくことができる
便利な福祉用具が沢山あります。

様々な提案ができるよう、お話を伺い、ケアマネジャーや福祉用具業者の方との
連携をこれからも進めていきたいと思ひます！



令和4年 訪問リハビリテーション 利用者様アンケート 集計結果

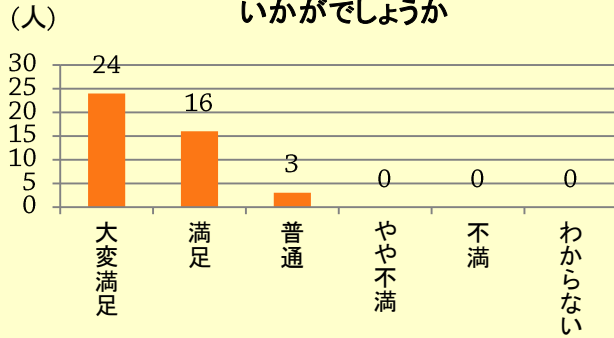
集計期間：令和4年1月10日～2月25日

対象：訪問リハビリテーションを利用されている方85名（休止中は除く）

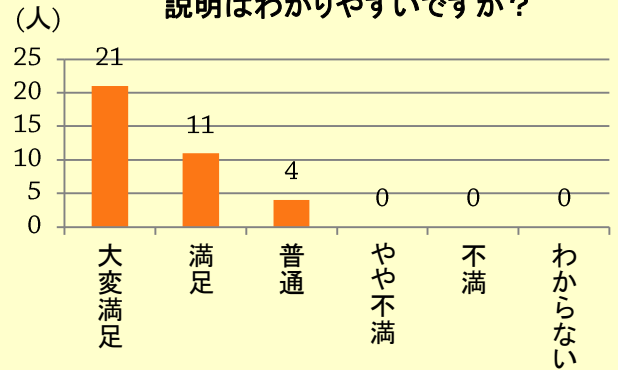
方法：アンケートと返信用封筒を封入し、郵送、無記名にて返信して頂く

回収率：52%

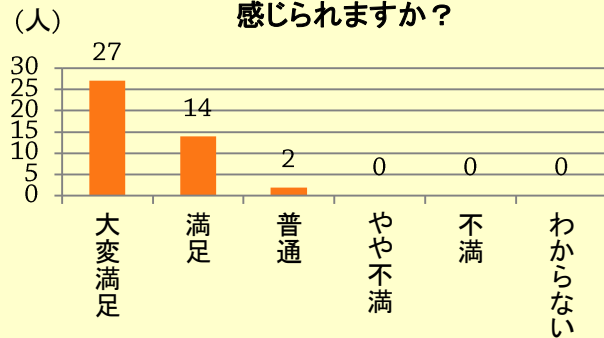
療法士の言葉遣い・服装は
いかがでしょうか



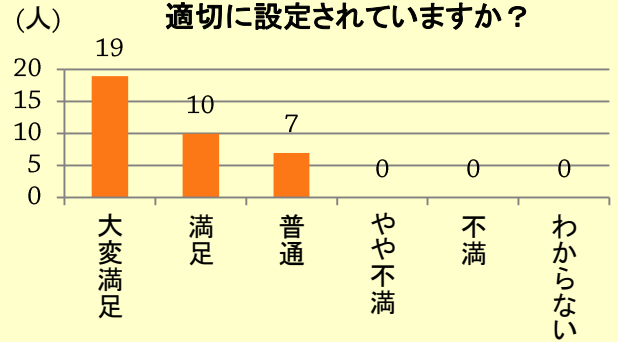
説明はわかりやすいですか？



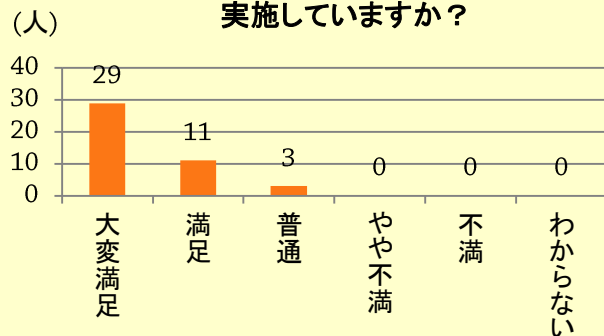
療法士のやさしさや気配りは
感じられますか？



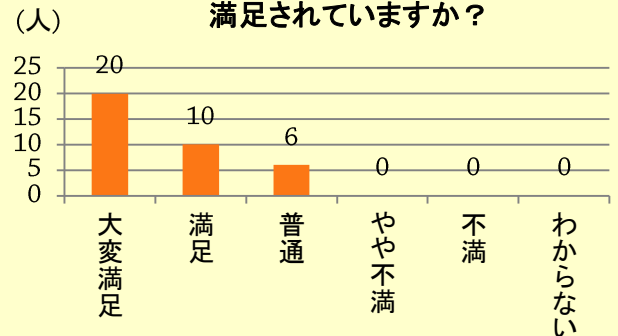
6.リハビリテーションの目標は
適切に設定されていますか？



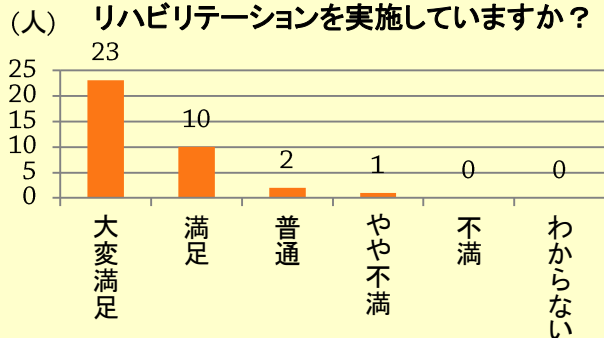
話しやすい雰囲気ですリハビリテーションを
実施していますか？



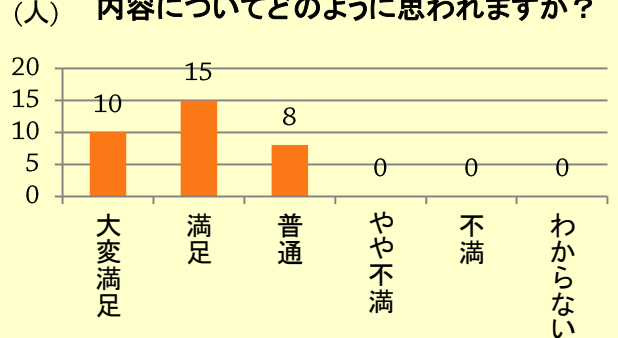
リハビリテーションの内容に
満足されていますか？



体調や状態に配慮して
リハビリテーションを実施していますか？



訪問リハビリテーションの診察・会議の
内容についてどのように思われますか？



訪問リハビリテーション利用後、生活の中で変わったことについて (利用者様の声 一部紹介)

近くの店に買い物に行くことができるようになり、狭くなっていた自分の生活が広がってきた。

退院直後、体調を崩しがちでしたがリハビリを始めて安定しているように思います。

杖を使って室内を歩けるようになった。室外も付き添いがあれば多分歩ける。

この年末は墓参りと初詣ができました。

少し動作がスムーズになり、自身も前向きに取り組むようになりました。

少し頑張ってみようと思うことが増えた。

少しずつでも、日常の中で「できた」と感じるが増えていらっしゃる様子です。

アンケートに記載されたご意見、ご要望について

御意見	当事業所からの回答
具体的にリハビリ内容を指示、説明してくれる。写真や自身で動作を見せてくれるので解りやすい。	ありがとうございます。 今後も、利用者様、ご家族様にわかりやすくお伝えできるよう努めてまいります。
可能なら機械、器具を使ったリハビリをやりたい。(Ex.手の機能回復用で紹介されていた上肢機能訓練ロボットを用いたリハビリ)	貴重なご意見をありがとうございます。 ロボットを使用したリハビリテーションは主治医の指示が必要です。適用の有無については、担当療法士にお尋ねください。 また、関連施設に「広島ロボケアセンター」がございます。ご興味のある方は、お知らせください。
3ヶ月ごとの診察(会議)ですが、リハビリで劇的に変わるところがないので、診察の内容も毎回変わらず目標も変わることがない。コロナのため集まる人数なども限られているため、必要性が低いように感じます。	貴重なご意見ありがとうございます。 訪問リハビリテーション診察では、3か月に1度医師が訪問リハビリの内容を見直して、「指示」を出します。医師からの指示がないとリハビリテーションが実施できないため、診察が必要となります。 また、リハビリテーション会議では、コロナのため集まる人数の制限をさせてもらっています。会議後は、内容を文書や電話連絡で他事業所様と情報共有をしております。 ご理解の程、宜しくお願い致します。
血圧など計測時間などがあるため、実際にリハビリを行っている時間が半分程度なので、効果が出にくい気がします。	安全にサービスを実施する上で、状態確認は必要になります。 当事業所では、1回の利用を40分と定めていますが、限られた時間となりますので、効率よくサービスを提供できるよう、改めて内容を検討していきたいと思っております。

ご多忙な中、アンケートにご協力いただき有難うございました。
この度頂いたご意見をもとに、更なる質の向上に向け、努力して参ります。

今後も、気になる点等ございましたら、お聞かせください。
よろしくお願い致します。

